

# 【申請から認定までの流れ】

は、事業者（申請者）が行う項目

事業者	<p>(1) ①前年度の二酸化炭素排出量を算定 ②削減目標を設定 ③取組内容を記載 ④認定申請 【提出データ】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1. (様式第1号、2号)</li> <li>・ 2. (様式第3号)</li> </ul>	<p>自社の前年度の二酸化炭素排出量を「1. 二酸化炭素排出量算定・削減計画作成シート」中の「(様式第1号) 二酸化炭素排出状況(毎月入力用)」により算定し、同シートの「(様式第2号) 二酸化炭素排出量の目標」を用いて、2030年度までの目標排出量を設定してください。また、その達成に向けた目標数値及び具体的な取組内容などを「2. 脱炭素経営事業者認定申請書(様式第3号)」へ記入し、市へ認定申請をしてください。 (※各様式の記載入力例をご参照ください。)</p>
-----	---	--

※参考として、三豊市以外にも事業所を有する事業者が、三豊市内の事業所のみの二酸化炭素排出状況を把握する場合は、1. の【参考】(市内事業所)シートをご活用ください。なお、この場合、市への提出は不要です。

市	<p>(2) ①審査 ②認定証の交付 ③認定事業者の公表</p>	<p>認定の可否について認定申請書を審査し、申請内容が適当であると認めた場合は、「脱炭素経営事業者認定証」を交付するとともに、その情報を市のホームページ等で公表します。</p>
---	--	--

事業者	<p>(3) ①取組の実施  ②当該年度の二酸化炭素排出量を算定 ③各様式に入力 ④実施した取組内容を記載 ⑤実績報告 【提出データ】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1. (様式第2号、8号)</li> <li>・ 5. (様式第1号)</li> <li>・ 6. (様式第7号)</li> </ul>	<p>「2. 脱炭素経営事業者認定申請書(様式第3号)」に掲げた削減目標を達成するための取組を実施してください。</p> <p>取組を実施した当該年度の二酸化炭素排出量を「5. 二酸化炭素排出量算定シート」中の「(様式第1号) 二酸化炭素排出状況【毎月入力用】」により算定し、その実績値を「1. 二酸化炭素排出量算定・削減計画作成シート」中の「(様式第8号) 二酸化炭素排出状況(過年度実績)」及び「6. (様式第7号) 脱炭素経営取組実績報告書」の当該年度の欄に入力してください。</p> <p>また、当該年度の取組内容などを「6. (様式第7号) 脱炭素経営取組実績報告書」に記入し、市へ提出してください。</p> <p>※報告期日は、翌年度の5月31日までです。ただし、提出期日が休日の場合は、翌開庁日とします。</p> <p>※報告は、計画期間中(2030年度まで)毎年度提出してください。 (※各様式の記載入力例をご参照ください。)</p>
-----	---	---

※参考として、三豊市以外にも事業所を有する事業者が、三豊市内の事業所のみの二酸化炭素排出状況を把握する場合は、1. 及び5. の【参考】(市内事業所)シートをご活用ください。なお、この場合、市への提出は不要です。

市	<p>(4) 認定事業者の取組を公表</p>	<p>市ホームページ等で認定事業者の取組内容と実績を公表します。ただし、公表することに同意した事業者に限ります。</p>
---	------------------------	--

2030年度まで(3)と(4)を毎年度実施

市	<p>(6) 認定事業者の表彰</p>	<p>「2. 脱炭素経営事業者認定申請書(様式第3号)」に掲げた、2030年度の削減目標を達成した認定事業者を表彰します。</p>
---	---------------------	---

※認定内容の変更  
①認定内容変更届  
【提出データ】

- ・ 1. (様式第2号)
- ・ 3. (様式第4号)

※実施期間中に認定内容(二酸化炭素排出量、削減目標、取組内容など)を変更する場合は、「3. 脱炭素経営事業者認定内容変更届出書(様式第4号)」を作成し、「1. 二酸化炭素排出量算定・削減計画作成シート(様式第2号)」を添付して、市へ提出してください。

※データ提出先：三豊市環境衛生課脱炭素推進室 【メール：kankyou@city.mitoyo.lg.jp】